

山目の子 明るい声をひびかせる

もちろん 結果も大事

**がんばりを続ける
考えながら取り組む**

過程を認めるのは もっと大事

サッカー日本代表は、“ベスト8”という明確な目標があったからこそ、強豪国にも堂々と向き合う勇気を持ち、プレーで力が発揮できたのだと思います。勝利や順位、記録などの結果を目標とすることは大事なことだと考えます。

右の各学年最高記録は、山目の子の目標になるよう、来年度の記録会まで掲示します。

そして結果だけでなく、学校で認めてきたことは、子ども一人一人の「がんばりを続ける」「考えながら取り組む」過程です。めあてに向かってがんばり続けることや考えながら取り組むことは、生きていくための大切な力です。



【仲間の応援も力に】

R4ペースランニング記録会

各学年 最高記録の紹介

この記録をこえるのは誰？

☆低学年 2分間

			名前	記録
1年	B組	女		450m
		男		450m
2年	A組	女		450m
		男		450m

☆中学年 4分間

3年	A組	女		900m
	A組	男		900m
			B組	
4年	A組	女		950m
	B組			
	A組	男		1000m
			B組	

☆高学年 6分間

5年	A組	女		1450m
	A組	男		1600m
6年	A組	女		1450m
	B組	男		1550m



一関市立山目小学校 校報 No.23
2022. 12. 13 文責:校長 菊池

ペースランニング 記録会をふいかえって



～ 自分のめあてに向かい 続ける 考える ～

めあてのカラーコーンに向かって走る子どもたちは、みんな力いっぱい。「自分のめあてへの挑戦」「短時間の集中」「練習の積み重ね」を、校庭で取り組んできたことが、子どもたちのがんばりに結び付きました。

ことり学級の子も先生や先生の伴走や励ましを受けながら、時間いっぱい走りぬくことができました。

たくさんのおうちの皆様の応援も力になりました。

**自分のめあてをもつ
がんばりを続ける
考えながら取り組む**



【自分のめあてに挑戦】